

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	(教)理科教育法 I						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース)/選択科目(食品生物資源コース)/選択科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	西田 哲明						
授業の到達目標(シラバスから)	1. 理科の授業を効率的に進めることができる。 2. 「生徒の能力を引き出す」ことができる。 3. 理科教育の目的・目標について具体的に述べるができる。 4. 楽しい理科の授業を実践し、学習指導案が書ける。						
日程と内容	4/8 導入、授業形態、成績評価など 4/15 理科の授業で大切なこと 4/22 質量、重さ、体積の教え方 4/29 模擬授業 5/13 理科の授業の教え方(タイプ) 5/20 理科実験のやりかた 5/27 模擬授業 6/3 理科の授業と実験 6/10 身の周りの理科(中間試験含む) 6/17 模擬授業: 実験と検証 6/24 学習指導案の書き方その1 7/1 学習指導案の書き方その2 7/8 理科教育の目的 7/15 化学教育の目的・生物教育の目的 7/22 理科実験の危険防止 7/29 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技			30%	
	臨時試験	0%	部外評価			0%	
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション			0%	
	課題	0%					
	演習	0%	計			100%	
授業到達目標の達成度	1. 理科の授業を効率的に進めることができるようになった。 2. 「生徒の能力を引き出す」ことができるようになった。 3. 理科教育の目的・目標について具体的に述べることができた。 4. 楽しい理科の授業を実践し、学習指導案が書けるようになった。						
反省点	月曜5限目で、体育の授業の後で、疲れが出てくる時間帯での授業であったが、多くの学生が真面目に参加していた。						
来年度の計画	全員が、総合評価10点を付けてくれることを目標にしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価(10点満点)で8.9(17名回答)となり、うち13名(77%)が9点または10点を付けてくれた。個別の設問項目においても、すべての項目について4.1~4.5(5段階評価)であった。						
履修登録者数	20名	定期試験受験者数	19名	合格者数	19名	合格率	100%